

平成29年度事業報告書

平成29年度における事業の状況は、次のとおりであった。

I. 会務・組織運営

1 理事会

(1) 平成29年 5月30日 平成29年第3回理事会

- ア 平成28年度社会福祉法人志賀町社会福祉協議会事業報告の承認について
- イ 平成28年度社会福祉法人志賀町社会福祉協議会計算関係書類及び財産目録の承認について
- ウ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会苦情解決規程の一部を改正する規程について
- エ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会指定介護予防訪問介護運営規程の一部を改正する規程について
- オ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会富来指定介護予防訪問介護運営規程の一部を改正する規程について
- カ 志賀町社会福祉協議会訪問介護サービスステーション訪問型サービスA運営規程の制定について
- キ 志賀町社会福祉協議会富来訪問介護サービスステーション訪問型サービスA運営規程の制定について
- ク 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会苦情解決第三者員の選任について
- ケ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会理事候補者の推薦について
- コ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会監事候補者の推薦について
- サ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会定時評議員会の開催について
- シ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会会員規程の一部を改正する規程について
- ス 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会専決規程の一部を改正する規程について
- セ 志賀町社会福祉協議会身体障害者等移送サービス事業運営規程の一部を改正する規程について

(2) 平成29年 6月26日 平成29年第4回理事会

- ア 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会会長の選任について
- イ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会副会長の選任について
- ウ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会常務理事の選任について
- エ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
- オ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会まごころ基金規則の全部改正について
- カ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会まごころ基金運用規程の全部改正について
- キ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会の補欠評議員の選任候補者について

(3) 平成30年 1月22日 平成30年第1回理事会

- ア 福祉サービス利用援助事業の実施について
- イ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会定款の一部を改正する定款について
- ウ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会処務規程の一部を改正する規程について
- エ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程について
- オ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会まごころ基金運用規程について
- カ 平成29年度社会福祉法人志賀町社会福祉協議会収支補正予算（第1号）（案）について
- キ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会の補欠評議員の選任候補者について
- ク 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会評議員会の開催について

(4) 平成30年 3月20日 平成30年第2回理事会

- ア 平成29年度社会福祉法人志賀町社会福祉協議会資金収支補正予算（第2号）（案）について
- イ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程について

- ウ 平成30年度社会福祉法人志賀町社会福祉協議会事業計画（案）について
- エ 平成30年度社会福祉法人志賀町社会福祉協議会資金収支予算（案）について
- オ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会理事候補者の推薦について
- カ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会理事候補者の推薦について
- キ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会評議員会の開催について
- (5) 平成30年 3月29日 平成30年第3回理事会
 - ア 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会会長の選任について
 - イ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会副会長の選任について
 - ウ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
 - エ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会支所長の選任について

2 評議員会

- (1) 平成29年 6月19日 平成29年第2回評議員会
 - ア 平成28年度社会福祉法人志賀町社会福祉協議会事業報告の承認について
 - イ 平成28年度社会福祉法人志賀町社会福祉協議会計算関係書類及び財産目録の承認について
 - ウ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会理事及び評議員等の報酬及び費用弁償に関する規則について
 - エ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会会員規程について
 - オ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会理事の選任について
 - カ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会監事の選任について
- (2) 平成30年 1月30日 平成30年第1回評議員会
 - ア 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会定款の一部を改正する定款について
 - イ 平成29年度社会福祉法人志賀町社会福祉協議会収支補正予算（第1号）（案）の承認について
- (3) 平成30年 3月29日 平成30年第2回評議員会
 - ア 平成29年度社会福祉法人志賀町社会福祉協議会資金収支補正予算（第2号）の承認について
 - イ 平成30年度社会福祉法人志賀町社会福祉協議会事業計画の承認について
 - ウ 平成30年度社会福祉法人志賀町社会福祉協議会資金収支予算の承認について
 - エ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会理事の選任について
 - オ 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会理事の選任について

3 監事会

- (1) 平成29年 5月19日 平成28年度1月～3月の会計監査及び平成28年度決算監査
- (2) 平成29年 8月 3日 平成29年度4月～6月の会計監査
- (3) 平成29年11月14日 平成29年度7月～9月の会計監査
- (4) 平成30年 2月13日 平成29年度10月～12月の会計監査

4 評議員選任・解任委員会

- (1) 平成29年 8月 3日 平成29年第2回 評議員選任・解任委員会
 - ア 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会補欠評議員の選任について
- (2) 平成30年 2月13日 平成30年第1回 評議員選任・解任委員会
 - ア 社会福祉法人志賀町社会福祉協議会補欠評議員の選任について

5 寄附採納業務

年間寄附件数は16件で、現金1,003,185円の寄附をいただいた。

【寄附金明細】

(単位：円)

No.	氏名	住所	金額
1	泉 茂	羽咋市中央町	100,000
2	藤本 禮子	志賀町坪野	100,000
3	大畠 きみ子	志賀町田原	100,000

4	下池 とし子	志賀町堀松	100,000
5	大島 佐代子	志賀町高浜町	100,000
6	寺口 優美子	志賀町二所宮	100,000
7	曾根 久仁夫	志賀町末吉	50,000
8	大塚 幸子	志賀町高浜町	100,000
9	匿名		50,000
10	匿名		100,000
11	土田郵便局		3,153
12	甘田声明会		15,032
13	志賀町女性団体協議会		20,000
14	グループホームのぞみの里		20,000
15	志賀町婦人加工連絡会		15,000
16	志賀町版画協会		30,000
計			1,003,185

6 基金運用

- (1) 寄附金 703,185 円及び基金管理にかかる預金利息 5,769 円をまごころ基金に組み入れた。
- (2) ボランティア育成基金管理にかかる預金利息 10 円をボランティア育成基金に組み入れた。
- (3) 本会の事務局車両購入費として 2,264,560 円を取り崩した。

【基金運用状況】

(単位：円)

基金名		志賀町社会福祉協議会 まごころ基金	志賀町ボランティア 育成基金	運用資金積立預金	合 計
平成 28 年度末		33,139,604	1,147,757	50,886,000	85,173,361
内 訳	増加額	708,954	10	0	708,964
	減少額	2,264,560	0	0	2,264,560
	差引増減額	△1,555,606	10	0	△1,555,596
平成 29 年度末		31,583,998	1,147,767	50,886,000	83,617,765
管 理 内 訳	現金	0	0	0	0
	預金	定期 20,000,000	定期 0	定期 50,886,000	83,617,765
		普通 11,583,998	普通 1,147,767	普通 0	
	その他	0	0	0	0

II. 地域福祉活動推進事業

1 地域福祉活動計画の推進

- (1) ボランティアのニーズ把握と情報提供
ボランティアセンターにおいてニーズの把握と情報提供や関係機関との連絡調整を図った。
- (2) 世代間交流の推進
老人クラブ連合会の運動会で園児が遊戯やゲームに参加することの支援、高齢者余技展での世代間交流やリハビリ友の会と高校生との交流を支援する事業を行った。
- (3) 事業者の協力による見守り支援体制の構築
石川県及び志賀町と協定を締結して見守り活動を行っている民間企業の把握に努めた。
- (4) サロン活動や交流活動の支援
社協広報誌「しかふくし」やホームページに現在活動している様子を掲載し、サロン活動の周知を図った。
- (5) 福祉関係機関の連携による情報提供の仕組みづくり
地域包括支援サブセンター業務を通じて、地域包括支援センター、福祉・医療関係機関と情報交換を行った。
- (6) 福祉ニーズの把握と社協の役割の明確化
志賀町生活支援体制整備協議会に参加し、生活サポート事業の活動状況の報告と課題の検討を行うとともに、生活課題の把握に努めた。

2 第10回社会福祉大会の開催

7月25日に町内の福祉関係者200名が一堂に会し、福祉に対する認識を深め、地域福祉の振興を図るため、本大会を実施した。会長表彰被表彰者は20名・1団体であった。「むすびあい 心がかよう 地域の輪 ～いつも 心に 逢い・ラブ・遊～」という演題でお笑い福祉使で落語家の交遊亭楽笑氏による記念講演を開催した。

3 総合相談事業

総合相談所を志賀地域・富来地域において毎月1回ずつ開設し、地域住民の日常生活上の心配ごとについての相談に応じ、指導・助言を行った。

3月30日に相談員研修会として石川県消費生活支援センターを訪問し、消費者トラブルや契約、多重債務などに関する知識を深める研修を行った。

【月別相談件数】

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	2	2	0	3	0	1	4	3	4	1	0	0	20
志賀	6	4	1	3	4	3	5	4	3	1	3	0	37

【相談内容】

	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・衛生	医療	精神衛生	人権・法律	財産	事故	母子保健・児童福祉	教育・青少年	心身障害者(児)福祉	母子福祉・父子福祉	老人福祉	苦情	その他	合計	
富来				3	1					1		14									3	22
志賀	7		2	1			2	2			5	13			1					3	7	43

4 高齢者生きがい事業

羽衣大学を志賀会場・富来会場において各6回開催し、高齢者の生きがいづくりを図った。

【講義内容・出席者数(出席率)】

内 容		富来	志賀
第1講義 10月11・12日	国宝に向けて ～妙成寺知られざる歴史秘話～ 羽咋市文化財保護審議会 前会長 松島昌幸 氏	308名 (79%)	188名 (77%)
第2講義 10月26日	健康寿命とフレイル 名古屋大学医学部附属病院 老年内科医師 大西丈二 氏	286名 (73%)	189名 (78%)
第3講義 11月29・30日	薬の正しい使い方 コトブキ薬局七尾店 薬局長 山崎 雅恵 氏	260名 (66%)	168名 (69%)
第4講義 12月6日	老いを健やかに過ごすヒント ～在宅ホスピス医からのメッセージ～ ふじ内科クリニック 院長 内藤いづみ 氏	264名 (67%)	166名 (68%)
第5講義 12月13・14日	『かんのんさま』～菩薩の誓願～ 金谷山龍護寺 住職 高島弘成 師	280名 (68%)	181名 (65%)
第6講義 12月20・21日	どじょうすくい世界をすくう!～露の真、笑いのススメ～ 落語家 露の真 氏	248名 (63%)	164名 (67%)
入学生徒数		392名	243名
卒業証書授与者数		267名	159名

5 身体障害者等移送サービス事業

車椅子搬送用自動車等を富来、志賀共に配置し、公共の交通機関を利用することが困難な身体障がい者や要介護高齢者の外出支援を行った。(利用登録者 富来：16名 志賀：63名)

【月別利用者数】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	5	5	4	4	4	5	9	5	4	4	5	4	58
志賀	15	23	16	16	21	25	22	20	20	18	15	21	232

【月別利用延べ回数】

(単位：回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	17	14	14	17	16	14	20	13	14	15	18	15	187
志賀	19	36	24	24	29	35	28	27	27	22	19	32	322

6 老人福祉員事業

町内の一人暮らし高齢者の安否確認や日常生活の支援をすることで、地域で安心した生活が送れるよう 506 名の老人福祉員を配置した。

【老人福祉員配置状況一覧】

(単位：人)

地 区	一人暮らし		老人福祉員	地 区	一人暮らし		老人福祉員
	男	女			男	女	
高浜地区	43	135	27	福浦地区	10	25	1
志加浦地区	48	68	54	熊野地区	12	35	30
堀松地区	24	40	10	富来地区	33	87	81
上熊野地区	23	32	20	稗造地区	14	33	20
土田地区	28	59	32	東増穂地区	14	45	21
加茂地区	9	20	27	西増穂地区	12	34	31
下甘田地区	10	20	14	西海地区	23	36	24
中甘田地区	25	43	51	西浦地区	21	64	63
				計	349	776	506
					1,125		

7 高齢者等除雪対策事業

自力で除雪が困難な高齢者世帯等に対し、小型除雪機等による除雪作業の支援を行い、安全と安心を図った。(利用件数 富来：30件 志賀：29件)

8 福祉サービス利用支援事業

認知症高齢者等、判断能力が十分でない方に対して、金銭管理や福祉サービス利用等の援助を行うことで、地域における自立した日常生活を送れるよう支援した。(3件)

9 広報啓発事業

社協広報誌「しかふくし」を年間4回発行し、ホームページで、地域福祉に関する広報・啓発を行った。< ホームページアドレス <http://www.scnet.tv/~s-shakyo/index.html> >

10 福祉団体事務局

各種団体の事務及び活動の支援を行い、事業の活性化及び自立促進に努めた。(ボランティア連絡協議会、民生児童委員協議会、老人クラブ連合会、心身障害者福祉協会、母子寡婦福祉会、遺族会、傷痍軍人会、英霊にこたえる会、赤十字奉仕団、リハビリ友の会、地域福祉推進チーム)

11 子どもの学習支援事業

生活保護受給世帯や就学援助受給世帯の児童・生徒に対し、学習指導や日常生活相談などの家庭以外の居場所の提供を通じた人的支援を行うことにより、学力の向上等を図り将来の安定的な就業と自立の促進につなげるため、学習サポーターや参加者を募り学習支援を行った。

(小学生対象 開催時期8月 回数：3回 登録人数：6名 参加者数 延べ9名)

(中学生対象 開催時期9月～2月 回数：16回 登録人数：2名 参加者数 延べ19名)

III. ボランティアセンター活動事業

1 ボランティアの登録・斡旋・相談

ボランティア活動者を登録し、活動の斡旋を行うとともにボランティア活動に関する相談を受けた。併せて生活サポート事業の推進を図るとともに、要支援者に対して援助を行った。(登録：1,989名 斡旋：171名 相談：74件)

2 ボランティア活動保険の加入

ボランティア活動保険等の加入手続きと掛金の助成を行った。(活動保険加入者1,443名, 行幸用保険7団体、福祉サービス総合補償2件、送迎サービス補償2件)

3 福祉教育の推進

(1) 児童・生徒のボランティア活動普及事業協力校との連携及び支援

学校内外の活動を通し、福祉のまちづくりを展開されるよう協力校を支援した。

(2) 出前ぼらんていあ講座の開催

志賀高校、富来小、志賀小の児童・生徒に対して、出前ぼらんていあ講座を実施し、ボランテ

ィアについての研修、高齢者疑似体験、視覚障害や車いす体験について、福祉教育の普及啓発に努めた。

4 福祉講演会の開催

震災の教訓を活かした「自助・共助・連携」の視点から地域コミュニティの活性化を図る気づきのゲームを通して、日頃から、自分や地域に何が必要か・何ができるかについて、考えながら実践的に学んだ。

5 地域住民グループ支援事業

高齢者の閉じこもり防止と介護予防支援のため、そくさい会連絡会を年6回開催し、そくさい会へ職員派遣などの活動支援及び指導を行った。

【そくさい会地区別開催一覧】

(単位:回)

名称	回数	名称	回数	名称	回数	名称	回数
1・3区小浜	12	志加浦地区計	108	土田メンズ	12	しおさい	12
2区	12	堀松	12	土田地区計	78	富来高田	12
5区	12	緑ヶ丘	12	矢駄	11	富来七海	12
6区	12	梨谷小山	12	安津見	12	富来生神	12
大念寺	12	北吉田	12	加茂地区計	23	富来地区計	72
今市	12	清水今江	12	二所宮	12	里本江	12
11区	12	末吉	12	福井	12	給分	12
あさひ	12	神代	12	大坂	12	中浜	12
はまなす	12	出雲	12	米浜	12	相神	12
新大念寺	12	堀松地区計	96	下甘田地区計	48	草江	12
東旭	12	釈迦堂	12	大島	12	東増穂地区計	60
高浜地区計	132	直海	12	坪野	10	西海風戸	12
川尻	12	米町	12	甘田	12	西海風無	18
町	12	牛ヶ首	12	中甘田地区計	34	西海地区計	30
安部屋	12	上熊野地区計	48	ふくら	12	赤崎	12
安部屋営団	12	徳田	12	福浦地区計	12	鹿頭	12
上野	12	館開	12	豊後名	12	西浦地区計	24
小浦	12	矢田	12	中山	12		
百浦	12	印内	12	熊野地区計	24		
赤住	12	仏木	12	富来地頭町	12		
けんこう村	12	栗山	6	富来領家町	12	合計 66ヶ所	789

6 ボランティア活動の支援

古切手、プリペイドカード、インクカートリッジ等の収集と情報提供を行った。

7 ボランティア団体の支援

各団体の活動が計画的・継続的に発展するために相互の連絡調整を行った。

8 各種用具の短期間貸出

ボランティア団体やそくさい会等にレクリエーション用具等の貸出を行った。

IV. 共同募金・日赤活動

1 共同募金配分金事業

(1) 一般募金として、社会福祉の事業や活動に必要な財源を確保するとともに、福祉の心を育て、地域福祉活動の促進を図った。

ア ひとり親家庭で義務教育が修了する生徒へ記念品を贈呈した。(8件)

イ 社協広報誌「しかふくし」を発行し、社協活動のPRを行った。(年4回)

ウ 外出支援事業として車いすの貸し出しを行った。(富来：10件 志賀：28件)

エ 福祉活動計画推進事業、社会福祉大会等への支援を行った。

(2) 歳末たすけあい募金として、地域福祉活動の促進を図るため、80歳以上の高齢者世帯へ歳末慰問事業を行った。(富来：344世帯 志賀：394世帯)

2 志賀町共同募金委員会事業

- (1) 10月から12月までを運動期間とし、各区に戸別募金を依頼したほか街頭募金(福祉団体役員、志賀高校生、ボランティア)の実施や募金箱の設置(町内73ヶ所)を行った。

【募金内訳】

種別	件数(件)	金額(円)	備考
戸別募金	6,509	2,278,400	1戸350円
街頭募金	1	45,462	10月1日ロッキー志賀の郷店、どんたく高浜店(33名)
学校募金	5	43,822	小学校2校、中学校2校、高校1校
職域募金	8	68,788	役場互助会、サンケンオプトプロダクツ労働組合、石田工業、長根尾電気商会、すみよし(志賀・富来) 志賀農業協同組合、社会福祉協議会
募金箱	73	117,441	いこいの村能登半島、能登ゴルフ倶楽部、能登ロイヤルホテル、石川サンケン本社・志賀工場、アリス館志賀、花のミュージアムフローリィ、アクアパークシ・オン、みちのえき旬菜館、道の駅とぎ海街道、海洋センターフレア、北國銀行(高浜・富来支店)、のと共栄信用金庫(高浜・富来支店)、興信信用金庫高浜支店、トギストアー、ロッキー(志賀の郷・富来店)、ローソン志賀福野店、サークルK能登高浜店、ローソン志賀福野店、どんたく高浜店、北市、ますもと、増穂浦ショッピングモールアスク、Aコープ富来生活センター、食品ストアー志賀の里、富来病院、志賀クリニック、池野整形外科医院、向クリニック、カフェドクッペ、闘牛茶屋、花や249、味やしん、のうみドライブイン、市左衛門、うな枘、8番らーめん(高浜・富来店)、シュクレ・プラージュ、鍵又、エビス屋、レストランてらおか風舎、八幡屋食堂、はし本、いさりび、満升、花よし、車座、TAKAYAMA、はまのデパート、大和ハウス工業、町内郵便局(13か所)、やすらぎ荘、文化ホール、とぎ地域福祉センター、役場、社会福祉協議会(本・支所)
イベント募金	4	29,620	健康フェア、アスクのイベント、JA展示会(志賀)
寄附	2	464	個人
その他	2	57,003	災害準備金取崩配分金(平成25年度拠出分)、利息
合計	6,604	2,641,000	

【使途内訳】

(単位：円)

種別	金額	備考
広域配分	384,000	石川県共同募金会へ
運動経費	30,000	平成30年度一般募金の活動経費へ
社会福祉協議会事業配分	2,122,000	平成30年度の事業へ
災害準備金拠出額	105,000	平成29年度災害準備金拠出分
合計	2,641,000	

- (2) 12月に歳末たすけあい募金を実施し、街頭募金(民生児童委員富来地域地区会長、石川県立志賀高等学校生徒・先生)を実施した。

【募金内訳】

種別	件数(件)	金額(円)	備考
街頭募金	1	33,921	12月14日 アスク、Aコープ(34名)
寄附	2	45,793	富来民謡保存会、民謡民舞の祭典で集まった募金、日蓮宗本成寺
合計	4	79,714	

- (3) 社協広報誌「しかふくし」において、募金活動の周知を図った。
- (4) 町内の福祉団体への事業助成を行った。(社会福祉協議会、老人クラブ連合会、手をつなぐ育成会、心身障害者福祉協会、NPO法人すみれ作業所) また、ボランティア活動普及のため、町内の学校にボランティア事業に対する助成を行った。(志賀小学校、富来小学校、志賀中学校、富来中学校、志賀高等学校)

3 日赤志賀町分区事業

(1) 5月を赤十字運動月間とし、全戸に広報誌を配布した。

6月に各区に戸別社資の依頼を行った。また、志賀地域においては赤十字奉仕団、富来地域においては各区長に日赤社員の社費の徴収を依頼した。

【社資内訳】 (新規加入 金色有功章：0名 銀色有功章：2名 特別社員：13名 社員：7名)

区 分		件数(件)	金 額(円)	備 考
戸 別		6,120	1,857,500	一戸当たり 300 円
加入 社員	金色有功章	9	100,000	
	銀色有功章	13	0	
	特別社員	934	1,021,160	
	社 員	162	103,100	
	小 計	1,118	1,245,260	
寄 附		0	0	
募 金 箱		0	0	ロッキー志賀の郷店、保健福祉センター、社会福祉協議会
合 計		7,328	3,081,060	

(2) 特別社員、有功章社員が死亡した際、日本赤十字社石川県支部長の弔辞をお供えした。(富来：18名 志賀：14名)

(3) 東日本大震災義援金に 26,674 円、熊本地震義援金に 189,585 円の受付をした。

V. 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、障害者世帯及び高齢者世帯に対して、その世帯の経済的自立、在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送ることができるよう生活福祉資金の貸付事務を行った。平成 29 年度中に償還が完了した者は 0 名、償還中の 13 名で、新規の貸付は 1 件であった。

VI. 小額貸付事業

緊急に生活資金を必要とする者に対し、生活のつなぎ資金として小口貸付を行い、生活の安定を図った。平成 29 年度における貸付は 4 件であった。

VII. 在宅介護サービス事業

1 居宅介護支援事業

在宅の要介護及び要支援高齢者に対して日常生活を営むために必要なケアプランを作成し、町や福祉サービス提供事業者と連携を図りながら、適切な保健医療・福祉サービスが効果的に提供されるように努めた。

【月別利用者数】 (単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	42	41	41	39	42	42	40	37	37	37	39	39	476
志賀	110	111	107	111	110	111	110	111	106	97	101	105	1290

【要介護度別延べ利用人数 (割合)】 (単位：人)

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
富来	155 (32.5%)	175 (36.8%)	96 (20.2%)	47 (9.9%)	3 (0.6%)	476
志賀	596 (46.2%)	339 (26.3%)	183 (14.2%)	112 (8.7%)	60 (4.6%)	1290

【月別介護予防ケアプラン作成件数】 (単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	3	3	2	1	1	1	1	1	1	0	0	0	14
志賀	2	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	11

2 訪問介護事業

要介護高齢者に対してホームヘルパーを派遣し、在宅で日常生活を営むことができるよう生活

援助及び身体介護サービスの提供を行った。

【月別利用者数】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	46	41	40	38	43	41	40	37	37	36	39	38	476
志賀	45	49	46	48	50	50	51	51	52	50	48	49	589

【要介護度別延べ利用人数 (割合)】

(単位：人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
富来	228(48.0%)	110(23.1%)	84(17.6%)	34(7.1%)	20(4.2%)	476
志賀	200(34.0%)	190(32.2%)	56(9.5%)	77(13.1%)	66(11.2%)	589

【要介護度別延べ提供回数 (割合)】

(単位：回)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
富来	2515(38.3%)	1304(19.9%)	1435(21.8%)	775(11.8%)	542(8.2%)	6571
志賀	2808(26.0%)	2955(27.4%)	1717(15.9%)	2099(19.4%)	1224(11.3%)	10803

【サービス区分別延べ提供時間 (割合)】

	身体介護	身体生活	生活援助	計
富来	1793時間05分(32.7%)	644時間00分(11.8%)	3041時間10分(55.5%)	5478時間15分
志賀	4147時間53分(44.8%)	1724時間13分(18.6%)	3390時間38分(36.6%)	9262時間44分

3 介護予防訪問介護事業

要支援高齢者に対してホームヘルパーを派遣し、必要な援助を行うことで自立した日常生活を継続できるように努めた。

【月別利用者数】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	20	20	18	15	13	8	8	7	5	3	1	0	118
志賀	13	10	9	6	4	3	1	1	1	1	0	0	49

【要介護度別延べ利用人数 (割合)】 (単位：人)

	要支援1	要支援2	計
富来	58(49.1%)	60(50.9%)	118
志賀	30(60.0%)	20(40.0%)	50

【サービス区分別延べ提供回数 (割合)】

(単位：回)

	介護予防訪問介護Ⅰ	介護予防訪問介護Ⅱ	介護予防訪問介護Ⅲ	計
富来	203(26.8%)	542(71.6%)	12(1.6%)	757
志賀	109(38.9%)	171(61.1%)	0(0.0%)	280

【サービス区分別延べ提供時間 (割合)】

	介護予防訪問介護Ⅰ	介護予防訪問介護Ⅱ	介護予防訪問介護Ⅲ	計
富来	203時間00分(26.8%)	541時間35分(71.6%)	12時間00分(1.6%)	756時間35分
志賀	108時間04分(37.2%)	182時間43分(62.8%)	0時間00分(0.0%)	290時間47分

4 介護予防・日常生活支援総合事業

要支援高齢者に対してホームヘルパーを派遣し、必要な生活援助を行うことで自立した日常生活を継続できるように努めた。

【月別利用者数】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	0	1	1	4	4	9	9	13	14	15	13	16	99
志賀	1	3	4	7	8	9	11	11	11	11	12	11	99

【要介護度別延べ利用人数 (割合)】 (単位：人)

	要支援1	要支援2	事業対象者	計
富来	24(24.2%)	39(39.4%)	36(36.4%)	99
志賀	14(14.1%)	25(25.3%)	60(60.6%)	99

【サービス区分別延べ提供回数（割合）】

（単位：回）

	訪問型Ⅰ	訪問型Ⅱ	訪問型Ⅲ	緩和型	計
富来	55(10.1%)	341(62.3%)	0(0.0%)	151(27.6%)	547
志賀	173(34.5%)	214(42.6%)	0(0.0%)	115(22.9%)	502

【サービス区分別延べ提供時間（割合）】

	訪問型Ⅰ	訪問型Ⅱ	訪問型Ⅲ	緩和型	計
富来	55時間00分 (10.8%)	340時間10分 (66.7%)	0時間00分 (0.0%)	114時間30分 (22.5%)	509時間40分
志賀	127時間22分 (38.0%)	193時間47分 (42.8%)	0時間00分 (0.0%)	87時間01分 (19.2%)	453時間10分

5 在宅高齢者軽度生活援助事業

介護認定で自立と判定された独居高齢者等に対してホームヘルパーを派遣し、軽易な日常生活の援助を行うことで自立した在宅生活の継続及び要介護状態への進行防止に努めた。

【月別利用者数】

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
志賀	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

6 移動支援事業

屋外での移動が困難な障がい者等に対して、ホームヘルパーによる外出の支援を行い、地域での自立生活及び社会参加の促進を図った。

【月別利用者数】

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
志賀	2	2	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	16

7 居宅介護事業

障がい者(身体・知的・精神)に対してホームヘルパーを派遣し、身体介護や自立した日常生活が送ることが出来るよう家事援助等の支援を行った。

【月別利用者数】

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	5	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	53
志賀	10	10	12	9	10	11	10	10	11	11	10	10	124

8 同行援護事業

視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する方等に対してホームヘルパーを派遣し、外出時における移動に必要な情報を提供するとともに移動の援護を行う、この事業の利用はなかった。

9 重度訪問介護事業

重度の肢体不自由または重度の知的障がい、もしくは精神障がいがあり常に介護を必要とする方の居宅に訪問し、入浴、排泄、食事等の生活全般にわたる援助や外出時における移動中の介護を総合的に行うことで、在宅での生活が続けられるように支援を行った。

【月別利用者数】

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
志賀	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	5

VIII. 地域包括支援サブセンター受託事業

1 高齢者総合相談支援業務

高齢者の生活・介護などの困りごとについて相談を受け付け、個々の高齢者にどのような支援が必要かを判断し、地域における適切なサービス、福祉・医療関係機関などにつなげる等の支援を行った。(延べ155件)

2 権利擁護業務

高齢者の人権や財産を守る権利擁護事業、高齢者自身が自分の判断で財産等を管理することができなくなった時に活用される成年後見制度など、権利擁護に関するサービスや制度を活用するために、行政機関や福祉関係機関につなぎ、高齢者の虐待防止や消費者被害の防止を図った。
(延べ11件)

3 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域の介護支援専門員や主治医をはじめ、様々な福祉・医療の関係者が連携・協働することで、保健・医療・福祉、その他の生活支援サービスを含め、地域における様々な社会資源を活用し(包括的)、高齢者がどんな心身状態になっても途切れることなく(継続的)、在宅でも施設でも、その人の生活を支援した。(延べ64件)

4 介護予防支援と介護予防ケアマネジメント業務

要介護・要支援認定における要支援1・2の方に対する介護予防支援、要介護・要支援状態になる恐れがある方に対するケアプランの作成を行い、適切なサービスが包括的かつ効果的に提供されるよう必要な援助を行った。(延べ311件)

IX. 在宅医療・介護連携支援センター受託事業

1 在宅医療に関する専門相談業務

かかりつけ医や介護支援専門員といった医療・介護等のサービス提供者からの在宅医療サービスに関する相談(訪問診療、訪問看護、後方支援病院等)に対して、必要な情報提供、支援・調整を行った。(延べ309件)

2 病院からの退院調整の支援業務

退院後の円滑な在宅医療を開始する際に支障がある場合、医療機関の地域連携室からの要請に応じ、医療機関が実施する退院調整の支援を行った。(延べ54件)

3 多職種・多機関の連携推進

地域の医療・介護等関係者の連携を実現するため、お互いの業務の現状等を知り、顔の見える関係づくりを目的とした研修会等を行った。(47回)